

みんなで作る  
森ものがたい

2021年10月3日発行 第139号

油山自然観察の森  
森を育てる会



〒811-1355  
福岡市南区大字松原855-4  
油山市民の森管理事務所内  
TEL: 092-871-6969  
FAX: 092-801-1463  
http://www.morikai.org/  
mail: aburayama@morikai.org



<7/4 カブトムシの森 草刈り>

も	表紙	1
	活動ノート(6/27,7/4,7/18,7/25)	2~3
	特集「昆虫調査」	4~5
く	道具の紹介	6
	油山のお仕事日記「センサーカメラ画像検証」	7
じ	「世話役から」(草木染)	7
	総会(うん・えー会報告 6/27)	8
	活動予定	8

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は(公財)福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。会では、随時、会員を募集しています。興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

# 活動ノート



6月27日(日)

備品整備

11:00~14:00



◆参加者：11名

◆内容：備品管理の活動はうん・えー会終了後、11時から4つの班に分かれて作業を行いました。1. カマの研磨(中厚鎌12本・長柄鎌3本) 2. ハサミ類の研磨(剪定鋏18本・刈込鋏5本、枝切鋏3本) 3. 機械道具の点検・整備(チェーンソー1台、刈払い機2台) 4. 備品台帳の確認(主な備品の員数チェック)、伸縮ポール金具取付けです。カマ・ハサミ類研磨の作業場所はレクチャールームとし、まずは全員で倉庫から必要備品を運搬して準備を整えました。作業開始前にネット動画で紹介されているカマ・剪定ハサミ研ぎを視聴し、グラインダーと砥石を使って一本一本丁寧に研ぎ出していきました。子どもの参加は一人でしたが頑張ってきた手伝いをし、大人ばかりの場を和ませてくれました。チェーンソーや刈払い機の整備は使



用する作業当日に行っていますが、今回「備品管理活動」でも行ってみました。いつもより時間も十分取れて更に念入りの点検・整備が出来ました。ただ、これだけは屋外で行われたので、強い日差しを浴びながらの過酷な作業となりました。備品管理台帳の確認として主な道具の員数チェックを行いました。伐倒セット袋(A, B, C3袋)内の道具一式は、現場で「アレが入っていない!」を防ぐため、その都度の確認がベターと感じました。またロープ掛け用伸縮ポールは新たに1本金具を取付けて長さ4mものが2本となりました。次回はカブトムシの森の草刈りです。整備した道具の切れ味を確かめるのが楽しみです。

【ふりかえりより】

- 道具1つ1つの名称が初めてのものがあり参考になった。
- 刈払い機の整備をしました。次回はよく切れると思います。

7月4日(日)

カブトムシの森 草刈り

9:30~15:30

◆参加者：18名



◆内容：草刈り作業は、安全の為に、刈払い機をC地区で集中的に使用することとし、A、B地区は手道具で作業しました。A地区では、南西側入口から東

に向かったのエリアを中心に、お互い間隔を取りながら作業を進めました。前週の道具整備のおかげで切れ味は快適でした。子供達は作業中にいろんな昆虫を発見していました。午後になると作業エリアはB地区へと向かう遊歩道沿い、湿地、休憩小屋北側へと広がっていきましました。又、B地区中央部、遊歩道周辺のイタドリ、ササなどの除去もできました。最終的に西側地区と休憩小屋北側が残りましたが、来園者の方々が利用しやすい雰囲気には仕上がりました。C地区では平地部分はほぼ終了しましたが、斜面部分はまだ一部を残し、刈り払い機を使えない東側も今後の作業となりました。今年の活動で一番蒸し暑かったにも拘わらず、衛生害虫に悩まされることも殆ど無く、熱中症になった人も出ずホッとしました。只、後半になるとさすがに疲れが目立っていたので、不慮の事故が起きないように、こういう場合は、早目に切り上げることも選択肢として設けるべきかと思いました。

【ふりかえりより】

- 皆で草刈りをして見通しが良くなったクヌギ林で、子供達が安全に自然と触れ合ってくると嬉しいです。
- A地区の草刈りをしていましたが、ただ草を刈るだけでなく、たくさんの生物たちと触れ合うことができました。

特別活動

7月18日(日)

カブトムシの森 草刈り

9:30~15:30

◆参加者：6名



◆**内容**：当日は熱中症アラートが発令され、どうなることかと心配していましたが、台風6号の影響か、油山は思ったより強い風が吹き、日陰は結構さわやかな感じの朝となりました。今回の作業は、7月4日のカブトムシの森での草刈り作業の続きで、4日の作業で終わることができなかったA地区の西側、B地区の水遊び場として整備している溪流沿い、そしてC地区西半部の斜面が対象です。人数は6人とやや少なかったのですが、各地区にそれぞれ2名配置し、ヤブがひどかったA・C地区では刈り払い機を使うこととしました。今回の刈り払い機での草刈りは、夏休み前の日曜日とあって、家族連れの入園者が多いことが予想されました。このため、刈り払い業者(1名)と入園者の見張りに専念する者(1名)がペアを組み、見張りは作業場所に人が近づいてきたら刈り払い業者に笛(人声ではエンジン音のためほとんど聞こえません)で合図を送り、通り過ぎるまでは作業を必ず中断する体制をとりました。A地区の刈り払い作業は午前中でほとんど終了しましたが、C地区では昆虫採集のために入ってくるファミリーが多く、なかなか作業が進みませんでした。そこで、午後からはC地区に2班を離れて投入し、無事に予定範囲の草刈りを終えることができました。一方、B地区ではカマや刈込はさみによる手作業となり、結構しんどい作業となりましたが、一部を残し、水遊び場としての利用にほとんど支障ない形に整備することが

できました。汗びしょりとなるややしんどい作業でしたが、予定範囲の草刈りを怪我や熱中症等もなく無事に完了することができ、これで昆虫採集などにやってくる入園ファミリーも歩き易いカブトムシの森にすることができました。今回の作業では、安全管理のための見張りの徹底のほか、これまで刈り払い機をあまり使ったことのない会員への安全な使い方の指導もでき、これからは作業分担が楽にできそうで喜ばしいことと思っています。

#### 【ふりかえりより】

- ・今回初めて刈り払い機を使用した。安全面、操作面など勉強になりました。
- ・草刈りをしたことで、森の中を歩き易くなったことが実感できました。残す草花の種類を覚えておこうと思いました。

7月25日(日)

#### 昆虫調査

9:30~15:30



◆**参加者**：13名

◆**内容**：今回は子供連れ家族が中心ということもあり、危険な昆虫などの説明も行ってからセンターを出発。途中でいろいろな昆虫を見つけながらゆっくりとカブ森へ向かいました。カブ森では子供たちが次々と昆虫を見つけては捕まえていきましたが、昆虫を怖がることなく触っていて頼もしく感じました。暑かったこともあり、水辺でしばらく休憩をしましたが、子供たちは休むことなくサワガニやカワゲラを捕まえていました。その後、休憩小屋



前で早めの昼食と長めの休憩をとり、午後のトラップ回収へ出発。トラップを仕掛けてからの天気あまりに良すぎ、バナナの発酵が進まずに乾燥気味だったようで、ホイホイトラップでカブトムシの回収が無かったのは残念でした。C地区でヒラタクワガタはいたものの、うろの中でスズメバチもいたため、深追いはしませんでした。それでも、子供たちが頑張ってくれて、C地区ではこれまで見つかっていなかったタマムシを捕まえることができました。トラップ荒らしがあって、例年よくカブトムシが入っているC地区のホイホイトラップは地面に落とされ、ピットフォールも抜かれたりしていたことは残念でした。かなり高いところに設置していましたが、登れなくはない枝ぶりの木だったので登ったようです。その後はセンターで数は少なかったのですがトラップの昆虫の同定を行い解散となりました。カブ森昆虫図鑑に追加された昆虫：ヤマトタマムシ、今回同定した昆虫：32種類

#### 【ふりかえりより】

- ・むしをつかまえました。よかったです
- ・たまむしをみつけてうれしかったです

## 特集 「昆虫調査」

### ■新型コロナの影響で6月は中止となる

今年予定していた初の6月の昆虫調査は、昨年度に引き続き新型コロナの影響で残念ながら中止、7月はコロナ影響も考慮して今年度は最初から1日だけのスケジュールとなっていました、何とか無事実施することができました。

### ■7月調査は注意事項からスタート

朝集合時は今回初めての昆虫調査の方が多く、家族連れで子供の参加も多かったことから森を探索する際の注意事項、特に危険な昆虫や対処方法をお伝えしました。

今回は体験参加1家族を加えて13名となかなかの大所帯で、小学生以下の子供たちが6人ということもあり、ゆっくりとセンターからカブ森へ向かいながら昆虫採集を行いました。



### ■カナブンやキマワリ、バッタを複数発見

子どもたちは昆虫への恐怖心というものがないよう、次から次へと昆虫を捕まえては歓声を上げながら和気あいあいとカブ森へ向かいます。

いつものロッジの下ではアリジゴクの巣を観察したりセミの抜け殻を集めたりしながら途中で小休憩もしっかりとって30分かけてカブ森へ到着。

到着後は早速バッタの仲間ではツマグロバッタ、ヤツムシなど、他にもキマワリや複数種のカナブンを見つけては捕まえて虫かごへ入れていました。

大人たちには暑かったのですが、子どもたちは暑さ知らずで動き回っていました。

また、途中ではB地区のせせらぎで小休憩を行ったのですが、子供たちは水棲昆虫を捕るのに熱心していて、熱心に水の中に網を入れていました。

種類はわからないのですが、魚を捕まえたり、サ

ワガニやカワゲラの幼虫などを捕まえて楽しんでいて、ちっとも休憩にはなっていないのですが、お母さん方は、少し休憩になったようです。

その後は観察小屋へ行って早めのランチとなったのですが、子どもたちは食べ終わって早々にトンボやチョウチョを捕まえるために走り回っていました。



### ■休憩小屋でランチの後トラップ回収と同定

ランチ後は木曜日に仕掛けていたホイホイ&ピットフォールトラップを回収しながらセンターへ戻りました。

残念ながらホイホイトラップ2つとピットフォールトラップ2本がトラップ荒らしにあっていました。

さらにホイホイトラップは、昨年度の教訓でかなり焼酎付けにしたものを入れていたのですが、雨が全く降らず連日の猛暑もあってバナナの腐食が進まず、カブトムシやクワガタムシだけでなく、全般的に昆虫があまり入っていませんでした。

回収昆虫が少なかったこともあり、短時間で終了、とはいえ、今回はC地区でタマムシを子どもたちが捕まえてくれたおかげでカブ森の昆虫リストに新しい昆虫が追加されました！

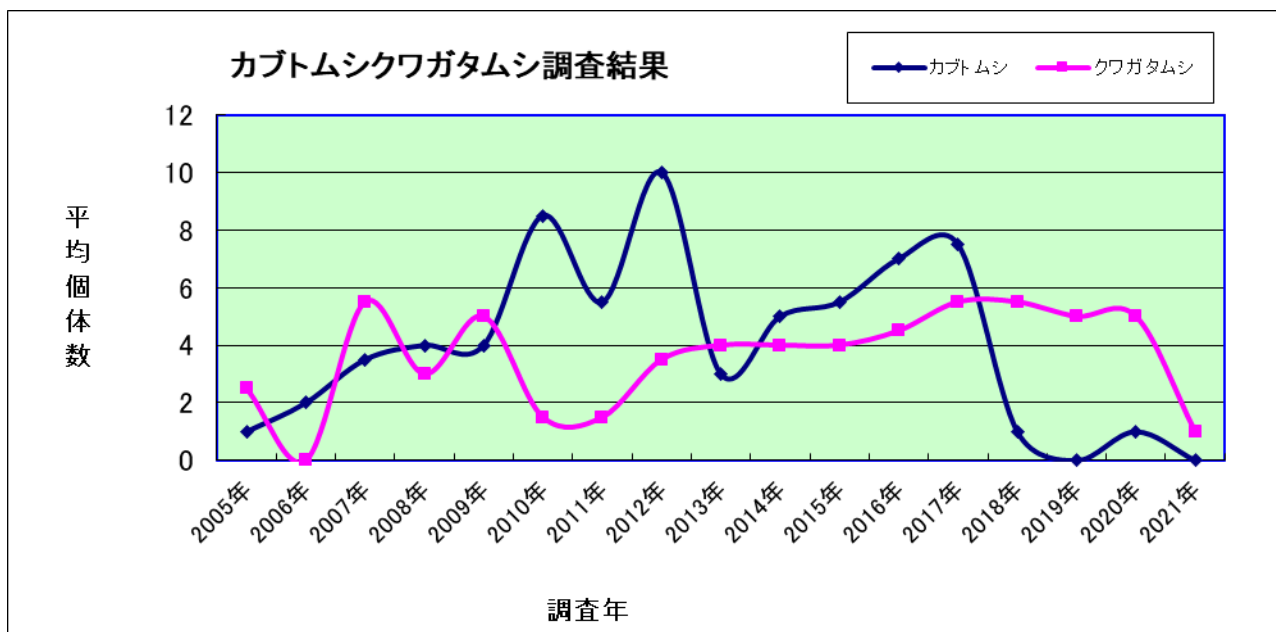
採集分も含めても全部で32種と少なめでしたが、

とはいえ、怪我無く、楽しく活動できたのでその点は良かったと思います。

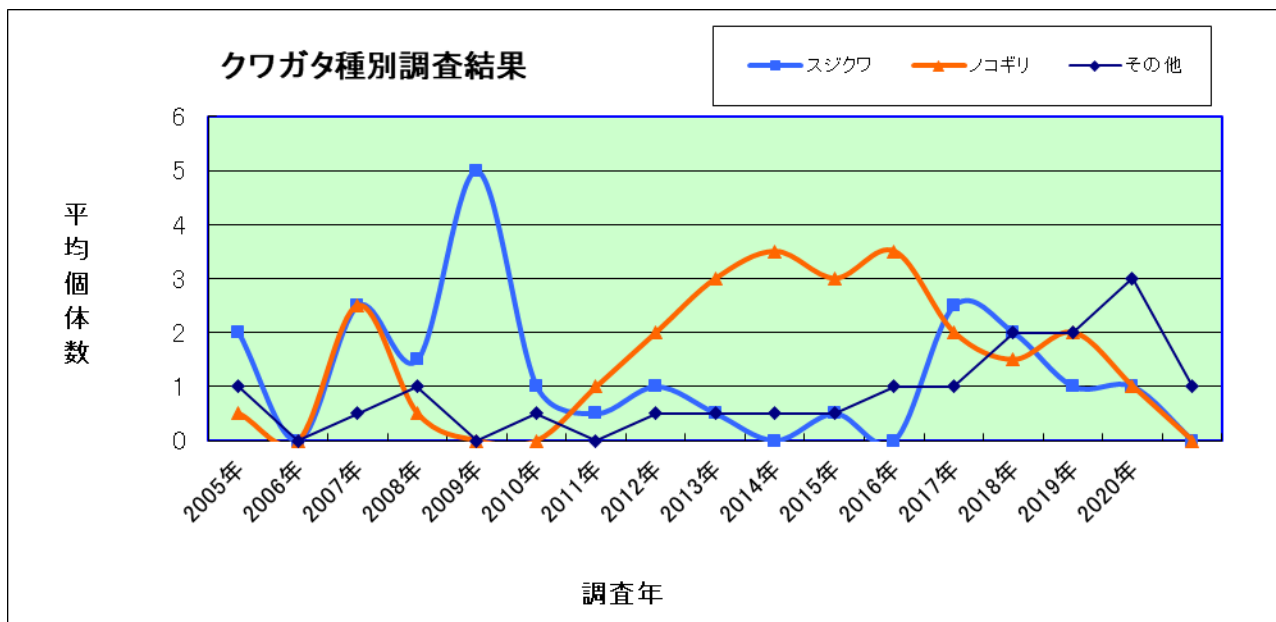


# 「昆虫調査」 経年変化

## ■カブトムシとクワガタムシの1回平均採集数



## ■クワガタムシの種類



カブトムシは比較的安定して採集されていましたが、ここ3年は猛暑が影響したのかカブトムシの回収がほとんどない状態が続いていて、今年はクワガタもヒラタ 1 匹のみとなりました。

なお、2013年からはトラップの数を12個⇒6個へ減らしていますし2013～2014年はトラップ荒らしがあったため、参考値となります。

### ■最後に

引き続きカブトムシの森の昆虫リストを増やしていきたいと思っておりますので、ご興味のある方がいらっしゃいましたらまずは気軽に体験参加でも結構ですので一緒に昆虫を探してみませんか。

昆虫調査班はいつでもお待ちしております！

昆虫調査世話役 新牛込

# 道具の紹介

備品管理担当 国広信幸

森会が現在保有している主な道具を紹介します。

## 【樹木の伐採、枝・幹の材処理に使う道具】

- ナタノコ [6本] 刃渡り30cm  
萌芽枝刈りから樹木の伐採や枝処理まで様々な場面で一番よく使用するノコです。作業時にはベルトには着けて携行しています。
- ソウリンノコ [2本] 刃渡り37cm  
ナタノコより一回り大きく強度もあり、太い木を切るのに適しています。中・大径木の伐採に欠かせません。
- 大ノコ [1本]  
主に大径木の追い口切りに使用します。
- 高枝打ちノコ [2本] 長さ3.6m  
手の届かない高い枝を切ります。伐倒対象木の重心を調整する為、枝を落とす時などに使用します。



- 伐倒セット [3セット]  
・ロープ、スリングロープ、滑車、伸縮ポール  
ある程度太い樹木を伐採する際、安全を期すと共に作業の最終段階で状況に応じて、倒す木を支えたり目標方向に引いたりするため予めロープを掛けます。
- ・ナタ  
受け口切りの微調整などに使います。
- ・竹製のガイド棒  
伐倒方向の目印及び追い口を受け口と平行に切るためのガイドとして使用します。
- ・クサビ、ハンマー  
伐倒の最終段階で追い口の切れ込みに差して、ハンマーで少しずつ打ち込んで、徐々に木を傾けていきます。
- フェリングレバー [1本]  
かぎ爪を木の幹にひっかけてテコを使うことで木を回す道具です。かかり木（伐倒木が予期せぬ方向に倒れ掛かってしまい、先端が地上まで落ちてこない状態）処理などに使います。



- チルホール [1台]

最大能力：500kg、安全ピン耐力：約1,000kg  
手動式の携帯ウインチ（巻き上げ機）です。逆重心の木を起こしながら切ったり、かかり木処理に使います。

- 鳶口（とびくち） [2本]  
長い柄の先にトビのくちばしの様な形の鉄製の穂先を付けた道具で、伐倒木を玉切り（太い幹を切断して丸太にすること）したものをヤード（材置き場）に移動する場などに使用します。



- チェーンソー [1台]  
2サイクルエンジン式・排気量40cc  
小さな刃が多数ついたソーチェーンを高速で回転させて木を切る動力道具です。機械の構造、整備の仕方、使用技術を習得し、安全に使用する事が重要です。防護具としてチャップスの着用も行っています。



## 【草刈り、萌芽枝刈りに使う道具】

- 中厚ガマ [12本]、長柄ガマ [3本]  
中厚ガマは下草やシダ刈りに、長柄ガマは茎の長い草が繁茂した場所で活躍します。これらの手鎌は保護したい植物を残しながら作業出来る良さがあります。
- 刈込バサミ [5本] 萌芽枝刈り等に使います。
- 刈払機 [2台]  
2サイクルエンジン式・排気量25cc  
草や萌芽枝を刈る動力道具です。これの導入で限られた日数で広範囲の草を効率よく刈れるようになりました。チェーンソー同様、安全に使用する事が重要です。



## 【その他】

- 剪定バサミ [20本] 葉・茎・枝切り等多用途に使用
- 掛矢 [2本] 作業道作りの杭打ちに使用

以上の他にも用途に応じたノコ・ハサミ・ハンマー類や植生調査、木工の道具、また道具整備ための道具もあります。みんなで大事に使い、楽しく活動しましょう！

## 油山のお仕事日記

### 「センサーカメラ画像検証」

油山市民の森・自然観察指導員 小川真樹

油山市民の森では、環境省の事業「モニタリング1000」というのに参加しています。その中では、野鳥や蝶類、植物相などの調査を行っていますが、令和3年度から、センサーカメラによる大・中型哺乳類の調査も開始しました。

カメラは5月初旬から6月初旬にかけての1か月間設置。場所は、蝶の楽園・第2駐車場下の沢浴い・料金所駐車場下の水たまり、の3か所です。蝶の楽園ではノウサギをよく見かけるので設置したのですが、思った通り、ノウサギのシルエットが数回撮影できました。おそらく蝶の楽園のしげみなどにねぐらがあるんでしょうね。

第2駐車場下の沢浴いは、獣道があるので設置してみたのですが・・・なんにも写りませんでした。

最後に料金所駐車場下の水たまり。ここには多くの動物が立ち寄っていました。はっきり撮影できたのはイノシシ、野犬、アオサギです。カメラレンズを横ぎるアオダイショウも写っていました。それからこちらの写真・・・おお、なんか撮れました！



なかなか暗くて確定できないのですが、サイズと過去記録から推測できるのは、野犬、アナグマ、タヌキ、アライグマあたりです。

体の丸みが野犬ぼくない気がします。左側にちょっと伸びるのが尻尾ならば、アナグマやタヌキにしては長すぎるかな？シマシマ模様のようにも見えるし、もしかしたらアライグマじゃないか？もしアライグマなら施設内で初撮影となりますが…。うーん、皆様はなんだと思いますか？

## 「世話役から」

草木染め世話役 平野陽菜子

森会の良い所は、「やってみたい！」と相談すると、「道具あるよ」、「こうしたらいいんじゃない？」と背中を押してもらえて出来ちゃうことです。上手いかなくても、笑って「次はこうしよう」と前向きに話せる雰囲気も気持ちがいいです。

草木染めは、センターの行事にあったのですが、子どもの学校行事と被っていたので、森会でやってみいな、と相談したのがきっかけです。

全く知識がないのにやりたい私は、センター職員の方に相談して染液作りや媒染の事を教えてもらいました。植物の種類、同じ植物でも季節によって、また色を定着させるための媒染液の違いによっても、様々な色に染まる布に「面白い！」となります。

「どの植物がきれいに染まるかな～」と話していると、「クサギの実がいいよ」と教えてもらい、実際のクサギの実の小ささと、採集の面倒さにめげつつ、冷凍保存して、数か年計画をしたり…。

淡いピンク色になる梅や、サクラの枝を使った染めには椿の灰がいることを聞き、カブトムシの森の世話役に相談して椿の木を伐採し、また会員の力を借りて灰作りもしました。（その後コロナ禍のため、キャンプ場を使った草木染めは出来ていませんが。）

今年はキャンプ場を使わず、叩き染めに挑戦する予定でしたが、残念ながら雨天で中止になってしまいました。



会の活動での草木染めは出来ませんでしたが、個人でやってみると、子ども向けで面白い染めになることに気がきました。

目下の課題は、私の世話役としての経験が浅く、いつも会長にチェックをしていただいている事…。

いつかちゃんと不備なくできる日が来ることを、いや、でも後方支援してもらえているので、我が道をまっ進むことに集中していきます。今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今の最大の悩みは、染めた布が布のまま家にたまっていくことです。どなたか簡単なバックなどの作り方を優しく不器用さに呆れず教えてください。裁縫が得意な方を草木染めでは大募集しています。

# うん・えー会報告

2021年6月27日(土) 9:30~11:00

出席者：12名

## 1. 役割決定、資料確認

## 2. 4~6月 活動報告 (詳細は会報第138号参照)

- ・4/10(土) アカマツ林作業
- ・4/18(日) カブ森作業、植生調査
- ・6/27(日) うん・えー会、備品管理 → 刃物類の手入れを実施した。

※以下の活動は、緊急事態宣言発令のため中止した。

- ×5/16(日) 安全講習会
- ×5/30(日) カブ森作業
- ×6/13(日) カブ森昆虫調査  
→ 安全講習会に変更したが中止

## 3. 4~6月 特別活動報告

- ・5/9 カブ森・材処理他

## 4. 7~9月 活動予定

※下記項目を予定していますが、新型コロナウイルス対策のため、変更・中止の可能性あり。

- ・7/4 カブ森作業 → 予備日：7/11(日)
- ・7/25 カブ森昆虫調査
- ・8/1 草木染め → 新型コロナウイルス対策のため、2組に分けて実施?
- ・8/15 木工教室
- ・9/5 うん・えー会、備品管理
- ・9/26 削り馬体験会

## 5. その他

5-1 安全講習について

- ・「ひやりハット」があった。
- ・秋の伐採作業(10月)迄に安全講習会を実施する。

5-2 SNS 導入しました → 会報138号P.6 参照

5-3 「油山の自然まとめ」→ 会報138号P.7 参照

5-4 広報より → 活動の中止が増え、森ものがたりに掲載できる記事が減り苦労している。

5-5 2020年度(令和2)決算報告 → 送付資料参照

5-6 2021年度(令和3年)予算 → 送付資料参照

## 6. センター連絡事項

6-1 センター行事「木のスプーン作り」10/31 予定

6-2 キャンプ場利用制限 → 4人/組

6-3 油山市民の森等リニューアル事業  
→ 福岡市のHPに掲載中

## 7. 発送作業

- ①会報138号 ②2020年度決算報告&2021年度予算案 ③ボランティア活動保険パンフレット

# 活動予定 (2021年9月~)

★〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行

その他の活動は雨天決行

活動時間：9:30集合 ~ 15:30解散

★荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。

★活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変更になる場合があります。

★〈作業〉の標記のある日の服装は「森会スタイル」(長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装)でご参加ください。必要な持ち物は

いぼ付軍手・帽子・タオル・弁当・飲物・おやつ筆記用具の他、必要に応じて着替え・雨具をご持参ください。



## 9月26日(日) 削り馬体験会 (中止)

削り馬を使って生木を加工し、オブジェ、日用品、おもちゃ等の製作を楽しむ

## 10月3日(日) アカマツ林作業

アカマツ林全域での萌芽枝や粗朶刈り、草刈り、広葉樹の除間伐を行います。

## 10月17日(日) カプトムシの森作業と植生調査

- ・カプトムシの森作業 草刈りと除伐を行います。
- ・植生調査 カプトムシの森A地区のコドラート内の林床植生調査を行います。

## 11月7日(日) カプトムシの森作業

クヌギの伐採を行います。(予備日11月14日(日))

## 11月21日(日) アカマツ林作業

広葉樹の除間伐を行います。

## 12月5日(日) うん・えー会とアカマツ林作業

・うん・えー会

9月~11月活動報告、12月~3月活動予定、その他(予算消化状況報告、世話役活動の振り返り提出依頼)

・アカマツ林作業

草刈り、萌芽枝刈り

## 12月12日(日) 納会とアカマツ林作業

・納会 フィールドを回りながら一年の活動を振り返ります。

・アカマツ林作業 外部(柏陵高校)研修受入準備をします。

\*\*\*\*\*

油山自然観察の森 森を育てる会

会報『森ものがたり』 季刊発行

編集担当：川上、西岡、鎌田、静間、松雪、平野

\*\*\*\*\*